2020年度　年間報告書

忠恕一貫

～良心に従い他を思う～

一般社団法人 千歳青年会議所

事務局

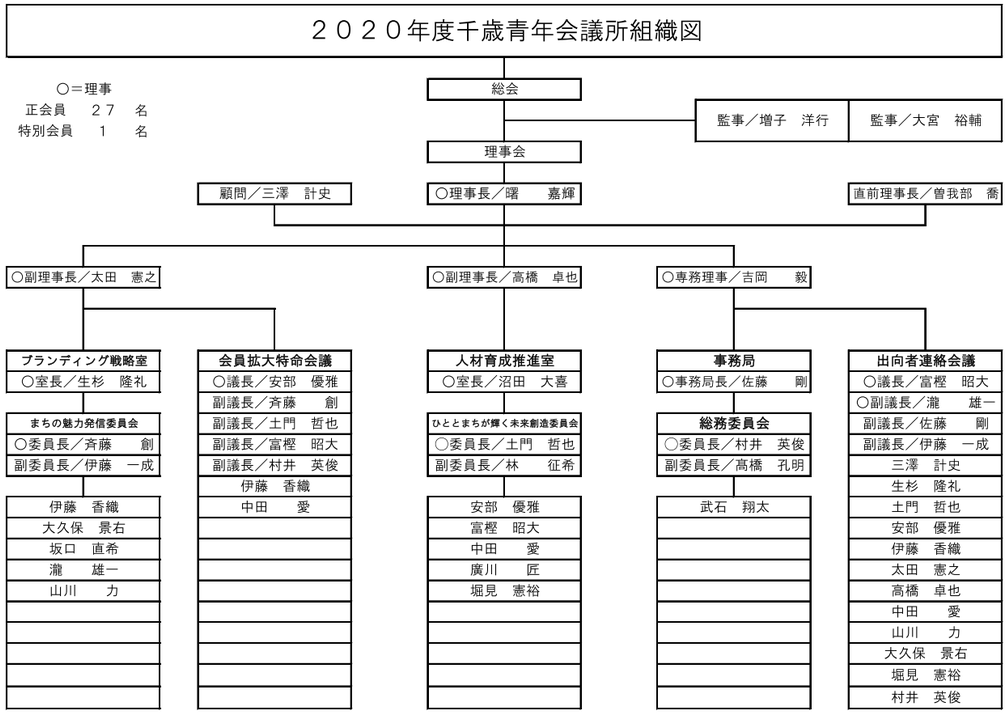
〒066-0042
千歳市東雲町3丁目2-6　千歳商工センター1F
TEL / FAX：050-3588-2436
URL:https://chitose-jc.com/
E-mail:mail@chitose-jc.com

JCI CHITOSE

目　　次

目次・組織図
理事長報告……１～２Ｐ
事業・例会報告……３～８Ｐ
外部事業報告……８Ｐ
活 動 報 告……９～16Ｐ
出向者報告……17～23Ｐ
会 員 褒 賞……24Ｐ
特別会員褒賞……25Ｐ

組　織　図



理 事 長 報 告

一般社団法人千歳青年会議所
第５７代理事長
曙　　嘉　輝

【はじめに】

関係各所並びに千歳青年会議所先輩諸氏の皆様におかれましては、日頃より一般社団法人千歳青年会議所の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜りますことに深く感謝御礼申し上げます。

これまで先輩諸氏一人ひとりの明るい豊かな社会の実現を目指した運動の積み重ねによって、千歳青年会議所は地域に信頼され、まちづくりに必要な団体として成長してきました。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、年当初掲げた目標とは異なる形の運動展開となりましたが、この状況下で最大限の出来得ることを考えながら精一杯活動致しました。未知のウイルスに悩まされながら、今までのやり方が通用しない中で何ができるのかを模索しながら活動を続けた一年間、２つのＭｏｖｅｍｅｎｔ　Ｐｏｌｉｃｙに沿った運動と、本年度の組織運営についてご報告申し上げます。

【魅力に満ち溢れた千歳の創造】

本運動は人の役に立ち世の中の役に立つという道徳の考えのもと、地域資源と地域住民の結びつきを強固にして新たな価値を見出し、地域経済の発展にどのように寄与するかを課題とします。しかしながら、本年度はコロナ禍で思うような行動がとれず、ＷＥＢを中心とした千歳の魅力の発信に尽力する形となりました。本来であれば、千歳青年会議所唯一の継続事業であり、最大の運動発信の場である「ＣＨＩＴＯＳＥ　ＲＩＶＥＲ　ＣＩＴＹ　ＰＲＯＪＥＣＴ」にて、運動の集大成を発信する予定でしたが、身を切る思いで中止の判断を下したしだいです。事業そのものは中止となりましたが、その判断に至るまでに様々な議論を重ね、新たな価値を見出すべく考察を繰り返したことはメンバーの大きな成長につながったと考えています。

今後に向けては、本年度出来なかった悔しさを胸に、道徳に基づいて地域資源と行政や団体、地元企業、そして住民などによる地域連携を確立し、魅力に満ち溢れた千歳を創造して参ります。

【人財に満ち溢れた千歳の創造】

大手企業の誘致や自衛隊員が多く住まうなど、流動人口の多い千歳市は地域への愛着が生まれにくいまちと言われています。流動人口が多いまちは多様な生活文化や価値観が混在し交流しているということです。そのような人々が相互理解を深めていくためには、お互いの個性を尊重し、多様な価値観を認め合うことが重要です。本運動に関しても新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、対外を巻き込んでの活動は難しいところがありましたが、まずは、メンバー一人ひとりが「ひととまちとが互いを輝かせ合うことの出来る人財」へ成長出来るよう運動を展開して参りました。めまぐるしく変化する情勢の中でその時代のニーズに応える手法を模索し、構築できたことを誇りに思っています。

人は人でしか磨かれない。これからも、本年の活動で求められる人財へと成長したメンバー一人ひとりが地域住民を巻き込み、ひととまちとが互いを輝かせ合うことの出来る人財に満ち溢れた千歳を創造して参ります。

【外部連携について】

本年度も外部事業として「スノーバスターズ２０２０」「千歳ウエルカム花ロードｖｅｒ．１８」を開催致しました。スノーバスターズに関しては降雪量、対象者の減少、花ロードに関してはコロナ禍で参加者が少ない中での開催ということで課題も残りましたがしっかりと引き継いで参ります。

また、来年の第７０回北海道地区大会千歳大会の主管に向けて、行政、関係諸団体、先輩諸氏とも連絡を密にさせて頂きました。今後も外部との協力体制を強固にしていくと共にメンバーの地域社会への貢献の意識を高めて参ります。

【未来に向けた組織づくり】

これから求められる持続可能な組織に向けて何ができるのか。一点目として、様々なシステムの見直し、改善を行いました。アジェンダシステムの導入、Ｚｏｏｍを用いた会議や例会の開催などです。二点目として、会員拡大が挙げられます。コロナ禍で大幅な増員とはなりませんでしたが、会員資格規程の変更や正会員への会員拡大に対する意識醸成を行いました。三点目として、出向制度の活用です。青年会議所は成長の機会を提供する団体であり、その最たるものが出向制度です。本年度の出向者が個人の成長を還元してくれることを確信すると共に、今後も数多くの出向者を輩出するＬＯＭであることを願います。

【結びに】

１００％出席例会となった新年交礼会、順風満帆でスタートを切った２０２０年度でしたが、新型コロナウイルス蔓延により年当初の予定の大幅な見直しを余儀なくされた一年でした。
そんな中でも、現状に真摯に向き合い、めまぐるしく変化する情勢に迅速な対応を行い、百折不撓の精神で今できる最大限の活動を展開してくれたメンバーに敬意を表します。

そして、改めてではございますが、本年度の千歳青年会議所の活動に際し、関係各所並びに先輩諸氏、メンバーのご家族の皆様には、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。来年度は第７０回北海道地区大会千歳大会の主管が控えておりますので引き続きのご理解とご協力をお願い致します。千歳大会を経て、個人が、そしてＬＯＭとしても、また大きく成長することを確信しております。一年間本当にありがとうございました。

事業・例会報告

【２０２０年度１月例会（新年交礼会)】

開催日時	２０２０年０１月１５日（水）１８時３０分～２０時３０分
開催場所	ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳　２階　千歳の間
テーマ	忠恕一貫～良心に従い他を思う～
主管	まちの魅力発信委員会

（委員長所見）

毎年開催される新年交礼会ですが、今年はより形式的な新年交礼会を心がけ、運営内容だけではなく所作や決まり事を意識したことにより、締りのある新年交礼会となり、２０２０年度のスタートを力強く切れたと思います。まちの魅力を発信する為には、正会員メンバー一人ひとりが笑顔で胸を張って活動が出来るように例会を作り上げる必要があると感じました。また、ＳＤＧｓの観点から食品ロスを考慮し、相当数の食品ロスを軽減することが出来たと思います。加えて、何度も出席を促した結果、１００％例会を達成することができました。

【２０２０年度２月例会】

開催日時	２０２０年０２月１３日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	イロイロリビング（千歳市幸町１丁目１５−８）
テーマ	ＪＣ学園　教えて！ＪＡＹＣＥＥ先生
主管	ひととまちが輝く未来創造委員会

（委員長所見）

本例会はメンバー一人ひとりがＪＡＹＣＥＥとして必要な知識を学び、互いに高め合い、今年一年間の活動に対して積極的に参加するという意欲を向上させることを目的として実施しました。学校の授業を模した形で、１年間の活動を通した成長目標の説明、セレモニーの所作や意味を解説する講義、日本ＪＣへの出向で得た体験から活動の幅や意欲が高まった経験の講話を行った後、グループワークを行いました。ドレスコードを「スマートカジュアル」とし普段とは異なる雰囲気の中で、互いに教え合うことを通し、活発な交流が生まれました。

【２０２０年度４月例会】

開催日時	２０２０年０４月２４日（金）１９時００分～２１時００分
開催場所	ＷＥＢ開催（Ｚｏｏｍ）
テーマ	地区大会がやってくるヤァ！ヤァ！ヤァ！
主管	ひととまちが輝く未来創造委員会

（委員長所見）

事前と事後のアンケート回答の変化を比較すると「積極的に関わろうと思っている」が４２％の増加、「参加する」が１９％の増加という結果となり、積極的な回答が増加し消極的な回答が減少しています。当例会に参加したことを通して先輩方の講演から経験を継承し、地区大会に参加する熱意を高めることができたと分析しています。今後は熱意の高まっているメンバーが、高まっていないメンバーに対して呼びかけを行い、７月例会や旭川大会、ＬＯＭナイトに参加することを促していくことで互いに意識を高め合っていくことを期待しています。

【２０２０年度６月例会】

開催日時	２０２０年０６月１８日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	ＷＥＢ開催（Ｚｏｏｍ）
テーマ	考えよう、今できること。そして行動しよう！
主管	ひととまちが輝く未来創造委員会

（委員長所見）

本例会は今年２回目のＷＥＢ例会です。前回の４月例会では映像を見るだけの形になってしまったので参加者に積極的な発言をしてもらうことを意識しながら構築しました。メンバー近況報告映像では５名のメンバーにインタビューを行い、それぞれの現状について共有し記録として残すことが出来ました。また、テーマ設定は限られた時間で議論するには難しすぎるというご意見を多数頂きましたが、ＷＥＢ上ではありましたがメンバーが顔を合わせて言葉を交わす機会となり、グループワークを通して多くのメンバーが防災に対して前向きな取り組みを行う意識喚起を促すことが出来ました。

【２０２０年度７月例会】

開催日時	２０２０年０７月０９日（木）１９時１５分～２１時１５分
開催場所	ＷＥＢ開催（Ｚｏｏｍ）
テーマ	地区大会を成功させよう！本気（まじ）の本気（ほんき）の模擬理事会！
主管	出向者連絡会議

（議長所見）

本例会は出席率１００％を達成することが出来ました。例会のテーマ「本気（まじ）の本気（ほんき）の模擬理事会」の“まじ”は、“真面目の”という意味でテーマを決めさせていただき、来年の地区大会の具体的なイメージの創出を目的としました。７０回目の節目を迎える北海道地区大会千歳大会の壁を乗り越える第一歩として、多くの会員が議案に触れ、意見を頂けたことはとても意味のある時間でした。卒業してからがＪＣ本番だと考えれば、１年半ほどコロナとともに踏ん張りみんなで乗り越えることができるとすれば、こんな濃厚な時間を過ごせる世代は無いのではないかと思います。

【２０２０年度８月例会】

開催日時	２０２０年０８月２０日（木）１８時００分～１９時００分
開催場所	夏のゆうやけテラス会場内（千歳市千代田町４・５丁目、グリーンベルト）
テーマ	まちに広がれ、未来へ届ける思い
主管	ひととまちが輝く未来創造委員会

（委員長所見）

本例会は本来であれば千歳市民納涼盆踊り大会に参画する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行による影響で計画から実施に至るまで大きな変更が何度もありましたがメンバーの皆さんに支えられ無事に終えることが出来ました。２月例会以降初めて直接顔を合わせる機会ともなり、Ｗｉｔｈコロナと呼ばれる状況下において新しい様式での例会、青年会議所としての事業を提案することが出来たかと思います。１００人の来場者へのＳＤＧｓ関連資料を配付、映像上映も含めて市民に対してＳＤＧｓについて知っていただく機会となりました。本例会ではＳＤＧｓに関わる資料を各所からご提供いただくことを通して、これからの千歳青年会議所にとってより良い運動を進めていくためのパートナーシップを生みだすことが出来ました。

【２０２０年度９月拡大例会（３月例会の延期開催)】

開催日時	２０２０年０９月１０日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	千歳商工センター　２階大会議室
テーマ	「Ｔｈｉｎｋ　Ｇｌｏｂａｌｌｙ　Ａｃｔ　Ｌｏｃａｌｌｙ」～ひとりひとりの力を大きな力に～
主管	会員拡大特命会議

（議長所見）

本例会は、会員拡大の講演に参加した中から是非ＬＯＭのメンバーに共有したいという思いから、石狩青年会議所の進士理事長を講師にお招きしました。講師と今の千歳青年会議所の状況を話しながら、来年度の地区大会への関わり方など会員拡大への取り組み方や考え方等勉強をさせて頂きました。従来の概念を一度外して頂いたうえで、新しいリストを作り上げたいという思いを形にしました。本例会の目的達成は、これからの拡大の活動の結果で示されます。今後も会員拡大特命会議が中心となって会員拡大に努めていきたいと思います。

【２０２０年度９月例会】

開催日時	２０２０年０９月１９日（土）１９時００分～２１時００分
開催場所	千歳市民文化センター　北ガス文化ホール（千歳市北栄２丁目２番１１号）
テーマ	ＪＡＹＣＥＥｂｅｒは誰だ！？～ひとりひとりが発信者に～
主管	総務委員会

（委員長所見）

本例会は広報の手段及び情報発信の重要性を理解し、実践いただく事を目的に開催致しました。例会のためにＳＮＳ投稿や動画制作をしていただいた訳ではなく、ＳＮＳによる情報発信の可能性を理解してもらい、今後もＬＯＭの対内外への発信や千歳の魅力の発信を継続いただくこと、また、動画制作の経験を経て、これまで制作されてこられた方々の労力をご自身で感じていただくと共に、今後の制作意欲に繋げていただくことが重要であると思います。今年度の総務委員会としての広報発信は限定的であったことや、運営の部分で反省する点は多々ありますので、様々な反省を今後の活動につなげるべく、効果的・継続的な発信の継続を率先して行っていきたいと思います。

【２０２０年度１１月例会】

開催日時	２０２０年１１月１２日（木）１９時００分～２１時００分
開催場所	千歳商工センター　２階大会議室
テーマ	みんなに知ってもらいたい！出向の価値と魅力！
主管	出向者連絡会議

【議長所見】

今例会は、出向から学ぶ青年会議所の価値という大枠のテーマから例会を構築し、講師にJCI日本社会グループ価値デザイン委員会委員長 﨑野雄生君、 同会計幹事辰巳太一君をお招きしました。タイプの違う２人を講師に招いたことで、あらゆる境遇で活動しているメンバーの価値観を変えるべく打ち合わせを進めてまいりました。例会当日は新型コロナウイルスに対する警戒感が強まったことでハイブリット講演へと変更しましたが、最大限の連携を会議体内で図り開催に至りました。例会目的である今後のＪＣ活動に向けて具体的な目標を、といったところに関しては、アンケートからメンバー一人ひとりが感じたことを言葉に変えてくれていました。地区大会は通過点かと思いますが、間違いなく高い壁であることは間違いありませんので、個々の想いがつながり、来年みんなで熱狂している未来を期待してします。

【２０２０年度１２月例会】

開催日時	２０２０年１２月０４日（金）１８時３０分～２１時３０分
開催場所	ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳　２階　千歳の間
テーマ	忠恕一貫～感謝の思いを込めて
主管	まちの魅力発信委員会

【委員長所見】

１２月例会では、新型コロナウィルス感染症の影響でＹｏｕＴｕｂｅの限定チャンネル配信と対面のハイブリット形式で無事執り行うことができました。そして、ＯＢ会のご理解の下、先輩諸氏におかれましても多くのご参加をいただきました。なお、今年４名の卒業生を送ることとなりますが、これまで共に運動を展開し汗をかいた仲間ですので、卒業の喜びとともに寂しさも感じられました。さらに、卒業生からの答辞では胸が熱くなるメッセージをいただき、次年度への気概の高まりと学ぶ姿勢をメンバー一同で得ることができた例会でした。また、計画より時間の超過がございましたが、来年度に向けメンバーの気概も高まることができたかと思います。

【２０２０年度３月例会】（主管：会員拡大特命会議）
　新型コロナウイルス感染拡大の影響により９月拡大例会に延期されました。
【２０２０年度５月例会（３ＬＯＭ合同例会）】（主管：総務委員会）
　新型コロナウイルス感染拡大の影響により無期限延期となりました。
【２０２０年度５月事業】（主管：ひととまちが輝く未来創造委員会）
　新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となりました。
【ＣＨＩＴＯＳＥ　ＲＩＶＥＲ　ＣＩＴＹ　ＰＲＯＪＥＣＴ　２０２０】
（主管：まちの魅力発信委員会）
　新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となりました。
【２０２０年度１０月例会】（主管：会員拡大特命会議）
　新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となりました。

外部事業報告

【スノーバスターズ２０２０】

開催日時	２０２０年０１月２６日（日）９時００分～１１時００分

【事業概要】
　自衛隊、千歳市内学生及び先生、企業、団体、市職員、ＪＣ会員・ＯＢ合わせて総勢５８７名もの有志が集まりました。千歳市社会福祉協議会様には地域選定を、また除雪作業を行う重機については千歳市内の企業様から無償で協力を頂いております。ご参加・ご協力頂いた皆様本当に有難うございました。来年もたくさんのご協力頂くことをお願いして、ご報告とさせて頂きます。

【千歳ウエルカム花ロードｖｅｒ．１８】

開催日時	２０２０年０６月２３日（火）９時００分～１２時００分

【事業概要】
　新型コロナウイルス感染症の影響により実施が危ぶまれましたが、残念ながら小学生は不参加となったものの新千歳空港から続く道路へ色とりどりの花を咲かすことができました。関係各所のご協力及び協賛企業の皆様からのあたたかいご支援誠にありがとうございました。

【千歳川清掃２０２０】新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となりました。

活 動 報 告

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　直前理事長
曽我部　喬

日本全土で新型コロナウイルス感染症対策が実施され、活動自粛や休止を決断した団体が多数ある中、当初の例会並びに事業計画等の変更を余儀なくされたにも関わらす、立ち止まることなく時代に即した運動を展開した曙理事長を始めとする正会員の皆様には感謝、御礼申し上げます。本年度、直前理事長という役職ではありましたが、理事ではない客観的な視点から千歳青年会議所を目の当たりにして、曙理事長の掲げたスローガンであります「忠恕一貫」～良心に従い他を思う～を各正会員が体現することの出来た素晴らしい１年であったと感じております。また、当会議所は、２０２１年度に開催予定の第７０回北海道地区大会を主管するということもあり、前年度に引き続き多くの出向者を輩出して北海道地区協議会のメンバーと連携を図って参りました。さらには、出向者や経験豊富な正会員が中心となって理事会や日々の活動を通じて、より良い運動を展開していくために各々の経験を当会議所に還元した１年でもありました。そのような経緯から、直前理事長という立場から現体制に対して助言をすることはほとんどありませんでした。来年度は、２０１９年度の理事長経験を活かして少しでも組織に貢献していけるように尽力いたします。結びに、当会議所の活動に際して、ご支援、ご協力頂きました関係者団体の皆様、先輩諸氏、そして正会員のご家族の皆様に心より御礼を申し上げ、直前理事長の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　副理事長
太田　憲之

２０２０年度は、まちの魅力発信委員会と会員拡大特命会議を担当する副理事長として活動させていただきました。曙理事長が掲げる「魅力に満ち溢れた千歳を創造しよう」という思いのもと千歳の魅力を発信・発展・発掘すべく一丸となって活動して参りましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、継続事業である「ＣＨＩＴＯＳＥ ＲＩＶＥＲ ＣＩＴＹ ＰＲＯＪＥＣＴ」が７回目にして初めて開催を中止する事となり、委員会としては悔しい思いをした一年となりました。卒業式例会やＣＲＣＰ等の議案構築の際は日々状況が変わる中、状況に合わせた開催方法がないかギリギリまで知恵を絞り、コロナ禍に立ち向かった委員長をはじめ室長・副委員長、委員会メンバーに心から敬意を表し、次年度以降の活躍を期待しています。会員拡大特命会議としては、３月例会の開催が同じくコロナウイルスの影響で９月に開催時期がずれ込み、１０月例会も対外を招いての構想だった事もあり中止の決断をする事になる等、計画変更を余儀なくされました。対面が制限される現下の状況での会員拡大は全国でも頭を悩ませる事となったかと思われます。そんな中でも基本的なＪＣの良さ、スケールメリットを伝えるべく理解を深めるとともに既成概念を取り払った拡大候補者の発掘に向けた活動を行いました。今年度中に思うような成果は出せませんでしたが、成果が次年度以降の拡大の一助となる事を願います。委員会、会議体の皆様へ心から感謝を申し上げ、一年間の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　副理事長

高橋　卓也

委員長経験もない私が、曙理事長のもと副理事長として人材育成推進室とひととまちが輝く未来創造委員会を牽引していく立場を頂きまして、とても貴重な経験をさせてもらうことができました。今年度は、４例会１事業でしたが新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令されてから戦略シートに記載しました例会・事業が変更、中止と思うように活動できませんでした。そんなコロナ禍の中でも、私たちは千歳青年会議所では初めての試みの、ＩＣＴ情報通信技術を利用した例会を２例会行うことができました。また、新北海道スタイルを実施しながらＳＤＧｓに関する例会を外で開催することができました。これは土門委員長をはじめとする委員会メンバーが活動を諦める事無く今出来ることを模索し続けた結果だと思います。本年度は、めまぐるしく変化する情勢・生活様式ではありましたが、そんな中でも私たちは、その時々の情勢に柔軟に対応しながら活動し続けてきたことは、とても評価できると思います。古き良き伝統を尊重しつつも、その時代のニーズに合った行動が出来ることは、今後の千歳青年会議所にとっても大きな発展に繋がると思います。最後になりますが、沼田室長、土門委員長そして委員会メンバーの皆さん、今年１年間本当にお疲れ様でした。皆さんとともに過ごせたことを感謝し、１年間の報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　専務理事

吉岡　　毅

本年度は専務理事の役職を頂き、組織改革の一環として様々なシステムの見直し、改善を進めて参りました。まずは、アジェンダシステムを導入し、理事メンバーによる上程エントリーや全メンバーが資料を閲覧できる仕組みを整え、本会、地区協議会と同水準の会議運営となりました。また、Ｚｏｏｍを導入し、コロナ禍の中、早い段階でオンライン会議が浸透し、理事会、三役会、委員会運営においてＷＥＢ会議を活用致しました。次に、会計の見える化を目指し、Ｇｏｏｇｌｅスプレッドシートで現金出納帳、預金出納帳、立替精算等のシートを整備し、また、領収書や請求書等の信憑書類をスキャンでデータ化、クラウド上に格納し、日々の支払い請求情報を整理しました。また、ネットバンクの法人口座を新たに開設し、ネット上で振込手続きや銀行明細出力ができる体制を整え、さらに、振込手数料の大幅な削減にも繋がりました。事務局ではＡＤＳＬ回線のサービス終了に伴い、光回線への切り替えを実施し、また、活用されていない電話回線を廃止し、インターネットＦＡＸのメッセージプラスを導入し、電話着信やＦＡＸデータをメンバーがいつでもメールで確認できる体制に致しました。結びに、曙理事長のもと三役として職務を担えたこと、先輩諸氏、関係諸団体、メンバーの皆様、そして、佐藤事務局長、村井委員長のお二人には本当に多くの支えを頂いた事に心から感謝し１年間の報告とさせて頂きます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　顧問
三澤　計史

年初は各所の新年交礼会に参加し、我々の新年交礼会においても多くの皆様にご参加いただき、期待に胸を膨らませ各会員が本年の活動をスタートしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、全国的にも青年会議所の活動に係わらず、個々の経済活動が縮小され、例年と同様の形式で例会や事業を実施していくことを断念する一年となりました。他方で、コロナ禍においても活動そのものを休止せず、ＷＥＢ会議等を用いて会員相互のコミュニケーションを継続し、意思決定を絶えず行ってきたことは大きな財産となりました。各事業の担当者に対しては、事業の構築と修正を繰り返し、大変な気苦労を乗り越えて年度末を迎えたことに改めて敬意を表するとともに、ご支援を賜りました各所の皆様に深く御礼申し上げます。

また、本年度新たに設けた会員資格規程が、組織に大きな変革をもたらすことを期待しております。我々の活動を体験し、将来共に運動を推進する同志となるべく賛助会員の入会促進にも注力していきます。

結びに、来年は地区大会を主管することになっていますが、本年あらゆる物理的な交流が制限され、我々のコミュニケーションのもつ価値や、組織の在り方を改めて考えさせられた経験から、今後さらに地域に必要とされる組織になるよう会員一同尽くしてまいります。

一般社団法人千歳青年会議所
監事
増子　洋行

前任の任期途中での退任に伴い、本年度より任期を引き継いでの就任となりました。

監事としての初仕事は、年度終了後の決算監査でありました。決算から１０日ほどで作成された計算書類等の監査を行うというタイトかつ特殊な業務を行うということでした。定時総会にて滞りなく、前年の書類等並びに監査結果の承認を、会員の皆様から承認頂きました。

本年度は、新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい、通常の法人運営並びに事業や活動が制限され、年当初に設定した活動ができないという問題が発生しました。職務執行をつかさどる理事会運営にも影響があり、感染拡大防止の観点から対面からＷＥＢでの非接触による開催等、イレギュラー尽くしの運営でしたが、特段、法令及び諸規定に抵触することなく運営されておりました。

委員会並びに例会の運営においても、理事会同様に非対面での運営に迫られましたが、情勢に応じて対面とＷＥＢによる運営がなされていたと確認しております。

最後に、２０２０年度においては未曾有の災禍でありましたが、コンプライアンスに順守した法人運営にご協力いただきありがとうございました。他の役員と違い定時総会までが任期となりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

一般社団法人千歳青年会議所
監事
大宮　裕輔

２０２０年度、曙理事長が掲げた「忠恕一貫ー良心に従い他を思うー」のスローガンの基、この１年、ＪＣ運動に邁進されたメンバー一人ひとりに心からの敬意と感謝を申し上げます。特に曙理事長をはじめ理事メンバーにおかれましては、昨年９月の予定者の段階から入念に事業計画を作り上げ、新年交礼会では１００％例会を成し遂げ、これ以上ない順調なスタートを切った矢先に新型コロナウイルスにより、それ以降の例会、事業を大きく見直しをせざるを得ない状況となりました。例会が実施できるか不透明な中、０から新たに計画を構築しなければならず、その苦労は想像に難くありませんでした。このような状況下で、理事会では、外部監事として議案の背景や目的、全体の精度、例会として実施すべき内容なのかなど、時には厳しい意見もさせていただきましたが、同時に皆さんにはその例会に対する熱意や想いを持って頂くことの重要性もお伝えしました。この一年、多くの活動が制限される中、当初思い描いていた目的は達成できなかったかもしれませんが、有事の時だからこそ、メンバー全員が精一杯知恵を絞り、このまちのために果敢に挑戦し続ける姿を間近で見させていただき、どの年よりも大きく皆さんを成長させたことは間違いありません。最後になりますが、入会して以降、６年間このまちの明るい豊かな社会の実現に向け、皆様と共に活動できたことに心より感謝申し上げ、監事報告とさせていだきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　理事
瀧　　雄一

本年度は、「忠恕一貫ー良心に従い他を思うー」のスローガンのもと、一般社団法人千歳青会議所の出向理事を拝命し、早いもので、もう一年が経過しようとしております。年当初から開催される、市内関係諸団体や各地会員会議所の新年交礼会を皮切りに、公益社団法人日本青年会議所並びに北海道地区協議会の事業や大会に多く随行させていただきながら自身の職務を務めて参りました。また、ＬＯＭに於いては三役経験者として、各種会議や各委員会活動へのアドバイスも含めて、千歳青会議所のすべての運動の下支えをする役目をいただいた一年でもありました。曙理事長が理想とする運動を全う出来たのかと一年を振り返ると、多くのメンバーの一人ひとりの想いの集積によって、ここまで来られたのだと感じておりますし、出向理事という貴重な一年を過ごさせていただいたことに心より感謝を申し上げます。最後になりますが、２０２０年度に関わらせていただいたすべての皆様、そして千歳青年会議所メンバーに最大限の感謝を申し上げ、役員報告に代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　事務局長

佐藤　　剛

本年は事務局長という役職を預かり、吉岡専務理事のもと総務委員会と共に一年間ＬＯＭの円滑な運営を図るべく活動を行わせていただきました。表立っての活動はございませんでしたが、定款や規程の見直しをはじめとした組織運営の基盤を支える立場を経験させていただいたことで、どのように運営され動いていくのか組織について大変多くのことを学ぶことができました。また、専務理事の指導のもと、議案上程アジェンダシステムの導入や、新型コロナウイルス感染症の影響による理事会のＷＥＢ開催への変更など、自分の知識が乏しい部分を担うことで新たな学びと経験を積むことができ、来年度以降の青年会議所活動や仕事においてもプラスになる学び多き一年であったと実感いたします。来年以降の活動にも引き継がれていく様々なシステムや手法の修正、変更に日々勉強の一年ではございましたが、コロナ禍で取り入れたシステムをさらに精度を高め運用を継続することで運動と運営の両輪がともに高めあい、ＬＯＭに好循環を生み出すものと強く感じております。委員会をサポートし導く立場ではありましたが、情勢が刻一刻と変化した本年においてその役割を十分に果たせなかったのではという思いは強く残りますが、専務理事そして村井委員長をはじめとした委員会のメンバー、ＬＯＭの皆さまに支えられながら、一年間役職を全うさせていただいたことに心より感謝申し上げ活動報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　ブランディング戦略室　室長

生杉　隆礼

今年度はブランディング戦略室室長として、Ｍｏｖｅｍｅｎｔ　Ｐｏｌｉｃｙ「魅力に満ち溢れた千歳の創造」に寄与するため１年間取り組んでまいりました。まず、新年交礼会においては多くの関係団体や他ＬＯＭそして先輩諸氏にお集まりいただき、盛会に開催することができ、スローガンとして掲げた「忠恕一貫」の精神で１年間ＬＯＭ一丸となって取り組んでいく姿勢をお示しすることができました。そして本来であれば、「ＣＨＩＴＯＳＥ　ＲＩＶＥＲ　ＣＩＴＹ　ＰＲＯＪＥＣＴ」において地域並びにＪＣの魅力を存分に発信し、新たな価値の創造につなげていくことを目指しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされました。しかし、斉藤委員長や伊藤副委員長を筆頭に委員会メンバーが最後まで諦めることなくＷＥＢを通じて千歳の魅力の発信に尽力していただきました。１年の締めくくりとなる１２月の卒業式例会ではコロナ禍の中、今出来る最大限の形で開催することができました。１年を通して思い通りの成果を上げることはできませんでしたが、幾度とない議論を重ね新たな価値を考察してきたことは決して無駄では無く、千歳青年会議所メンバーにとって良心に従い他を思う成長の糧となりました。今後も地域並びにＪＣの魅力を発信し、地域に必要とされる組織を目指してまいりますので、引き続き皆様からのご支援をお願い申し上げ活動報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　人材育成推進室　室長
沼田　大喜

本年度私は室長という分不相応な役を頂き不安の２０２０年の始まりでした。またコロナウイルス感染症の蔓延・猛威により思い通りに活動・運動が出来ず、人によって自社の経営状況が悪化する等不安や困惑の日々でした。更には委員会ではその渦中にて３例会を担当しており開催や手法の可否という議論の連続でした。しかしそういった状況でも委員会としては年頭に予定していた計画の方向性を今の状況を踏まえ柔軟に対応し、更には手法をリモートでＷＥＢ例会を行う事など新しい生活様式にフィットした委員会運営をして頂きました。私としてもこういうような厳しい状況下で新しい考え方や技術など刺激を頂き成長する機会を頂きました。このような決して順風満帆とは言えない状況下でも新たな挑戦をし、立ち止まらずに委員会活動を行われた委員長、そして委員会の皆様を私は尊敬をしております。またその挑戦に真摯に向きあい調整を何度も行って頂いた三役の皆様にも感謝の思いでいっぱいです。コロナウイルス感染症のせいで思ったとおりに活動ができなかったのはとても残念で仕方ありませんが、このような稀有な状況があったからこそ改めて我々の組織の中核の想いである三信条をより強く胸に刻むことができました。最後になりますがまだこのような状況が続くかと思いますが、立ち止まらずに挑戦をして今後のＬＯＭの発展、更にはまちづくりに生かすことを切に願い私からの年間報告とさせて頂きます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　会員拡大特命会議　議長
安部　優雅

本年は、会員拡大特命会議の議長を務めさせて頂きました。２０２１年度に控えている地区大会主管という大きな経験をたくさんの仲間でやり遂げたい。ＪＣをよく知らない人たちにも知って頂くとても良い経験だと思いました。全国各地で行われている会員拡大の事例を、ＬＯＭのメンバーでも共有したい、全国の拡大が成功しているＬＯＭでは今までの概念にとらわれない会員拡大活動を行われていることを千歳のメンバーにも知って頂き、拡大対象者をまず広げることから始めようと思い、３月例会を構築しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で３月例会は延期となってしまいました。開催できたのは９月になってからですが、ＬＯＭのメンバーから今まであがってこなかったたくさんの候補者の名前を頂くことができました。年内はなかなか人に会うことが難しい状況でしたが、今まで声を掛けることがなかった方へ声を掛けるきっかけとなりました。また、少しでも間口を広げたいと思い、本年は規程の改定を行いました。今の時代、何もしなければ会員が増えることはほぼありません。会員拡大はＪＣ活動そのものです。より多くの市民に共感してもらい、まちづくり人を増やすことがまちづくりへと繋がります。自分たちが住まう千歳をこれからもっとより良くしていくために、今年できたことも、できなかった悔しさも、これからの会員拡大の活動に繋げていきたいと思います。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　出向者連絡会議　議長

富樫　昭大

今年度、私は出向者との連携を図る会議体の議長の職を務め、理事として活動をさせていただきました。会議体のメンバーとしてはＪＣＩ日本をはじめ正会員の役半数が出向し、各地様々なフィールドで修練のなかから多くの学びと出会いを経験することで、ＬＯＭの活動にも大いに貢献した１年であったと感じています。我々の会議体は７月と１１月の例会を担当しました。７月例会は、２０２１年度主管が決まっている北海道地区大会に向け模擬理事会を開催し、仮議案を上程する設定で、本議案の中に上程議案を作成するという難しい内容でしたが、１００％例会で正会員全員が地区大会の概要把握と意識向上を図る良いきっかけを作ることができました。１１月例会は、出向の経験から青年会議所の価値を学ぶことを大枠のテーマとして、ＪＣＩ日本価値デザイン委員会の委員長を講師としてお呼びし、これまでの経験談を講演していだきました。目的として掲げた、青年会議所活動の目標を言語化することに関しても、全員がアンケートに答え未来を考える時間を作れたことで、目的達成できたと思います。今年はコロナウイルスにより行動が制限され、思ったような出向活動ができなかったメンバーもおりますが、ポジティブに捉えれば現実に向き合いながらの最大限の努力で、貴重な経験を積めた１年ではないかと思います。最後に、支えていただいたすべてのメンバーに感謝申し上げ活動報告とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　まちの魅力発信委員会　委員長

斉藤　　創

２０２０年度まちの魅力発信委員会では、まちの魅力を対内外に発信し未来のまちづくりに寄与することを目的とし、２例会・事業の担当、そして外部事業を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響から２例会、外部事業を行い魅力に満ち溢れた千歳を創造することを推進してきました。まずは、１月例会「新年交礼会」にて２０２０年度新体制へのご理解ご支援を頂くことを目的とし、伝統を重んじることを大切に理事長はじめメンバーが１００％出席し、皆様に披露させていただきました。そして、外部事業は「千歳ウエルカム花ロードｖｅｒ．１８」を行いました。当初、オリンピック競技会場として一部札幌に決定したことから、世界各国から来る方々へおもてなしの気持ちをもって、日本国旗をイメージして赤と白の花を植えました。この状況下の中、実施し次年度に繋げるよう関係諸団との連携も図ってきました。また、第７回目となる「ＣＨＩＴＯＳＥ　ＲＩＶＥＲ　ＣＩＴＹ　ＰＲＯＪＥＣＴ　２０２０」を開催することができませんでしたが、メンバー全員で奮闘し諦めることなく最後まで運動を起こす準備をしました。さらに、１２月「卒業式例会」においては、感謝の気持ちを伝えると共に、２０２０年度の活動報告を行う事を目的とし、ＹｏｕＴｕｂｅでのライブ配信と対面のハイブリット形式で行いました。苦楽を共にした４名の卒業生を送り出し、一年間のメンバーを互いに労うことができました。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　ひととまちが輝く未来創造委員会　委員長

土門　哲也

ひととまちが輝く未来創造委員会は、ひととまちとが互いを輝かせ合うことの出来る人財に満ちあふれる千歳の創造を目指して２０２０年の活動をスタートしました。しかしながら当初計画していた地域人財育成事業は中止とし、市民に向けた対外的な取り組みとしては不十分なところもありました。そのような中でも、２月例会だけは思い描いた形で実施し、学校を模してメンバーが先生役と生徒役になって互いに高め合う意識を向上させる例会となりました。続く４月と６月例会ではＷＥＢ例会として開催。４月例会では高遠先輩と勝俣先輩のご協力により地区大会への意識向上につなげる講話とパネルディスカッションの収録を事前に行い、例会当日に上映しました。６月例会は双方向の対話が出来る例会の構築を目指し、ＷＥＢ会議の様々な機能を利用しながら防災に関する意見交換をする機会となりました。８月例会では、市内中心部においてＳＤＧｓの啓発活動を行いました。会場装飾のランタンとプロジェクターの輝きが今年の夏の思い出として市民の心に残ってくれれば幸いです。結果的に今年は既存の枠を外れた例会の形に挑戦し、対内向け中心ではありましたが新たな学びを得る機会を作ることが出来ました。結びに、多くのご助言をくださいました高橋副理事長並びに沼田室長、共に活動した７人の委員会メンバー、そしてご協力頂いた先輩諸氏並びに企業・団体の皆さまに感謝を申し上げ報告といたします。

一般社団法人千歳青年会議所
２０２０年度　総務委員会　委員長

村井　英俊

総務委員会では総務と広報の二本柱を担ってまいりました。総務については事務局との連携のもと、円滑な運営を行えたと感じております。しかしながら広報においては総務委員会主導による積極的な発信という目標は達成できませんでした。対面が制限された中で、青年会議所の活動を先輩諸氏、市民に対して発信することができるのはＳＮＳを中心としたインターネットでの広報活動であり、これができなかったことは十分に反省しなければなりません。しっかり検証し、次年度以降に繋げることで、コロナ禍における情報発信の充実を図っていきたいと思います。また、総務委員会では５月と９月に例会を主管することとなっておりましたが、残念ながら５月例会は新型コロナウイルス第一波の影響により今年度開催を断念することとなりました。３５年間続いてきた恵庭青年会議所、北広島青年会議所との３ＬＯＭ合同例会が２０２０年度は中止となったことが残念でなりません。しかし、他ＬＯＭとの議案構築、例会準備において時にはウェブを活用して綿密な打合せを行った事で委員会同士での結束は深まり、必ず次年度以降に繋がる結果であったと思っております。また、９月例会は上述の通り反省点である広報を中心とした例会を実施いたしました。全メンバーにＳＮＳ発信と動画制作に携わっていただく事で、組織広報の重要性を理解していただけたかと思います。結びに、吉岡専務並びに佐藤事務局長、共に活動した委員会メンバーに感謝を申し上げ報告といたします。

出 向 者 報 告

公益社団法人日本青年会議所
２０２０年度　国際グループ　国際協力関係委員会　委員
北海道地区協議会　２０２０年度　道央エリア担当副会長

三澤　計史

本年度、公益社団法人日本青年会議所では、全国的にも会員数が減少による組織の衰退化が危惧される中、時代に合わせた青年会議所運動を推進し、より多くの共感者を得られるよう、組織改革に重きを置き一年間の活動を行いました。北海道地区協議会においても、会員が個々の活動に対し、より積極的に参加できるよう組織改革を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、意図的な改革というよりは従来通りの活動が制限されることが多々あり、言わば強制的に組織の在り方を考えさせられる一年となりました。

しかしながら、年間の活動を通じて、事業実施を断念することだけではなく、今まで実用に至らなかったＷＥＢ会議を積極的に導入することで、広大な北海道における移動に係る時間や費用を削減し、会員の活動環境の整備を行うことができました。また、従来の事業実施の場を物理的空間からＷＥＢ上に移すことで、運動の対象者や内容の見直しを行い、効果的な発信方法についても今まで以上に議論を行いながら、公に尽くす団体でありながらも柔軟で開放的な組織への変革も推進しました。

来年度は、公益社団法人日本青年会議所北海道地区大会を主管する年となります。私としても、本年度の出向により学び得た経験から、千歳の発展に貢献していくことをお誓いするとともに、関係各所の皆様には引き続きご指導、ご協力を賜りますことをお願い申し上げ、出向報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所
２０２０年度　社会グループ価値デザイン委員会

副委員長　瀧　　雄一

本年度は、公益社団法人日本青年会議所２０２０年度社会グループ価値デザイン委員会副委員長として出向する機会を与えていただきました。社会グループは「好循環を起こす人と企業による地域経済の再建」をテーマに、６つの委員会で構成され、当委員会では、企業支援プラットフォームの活用、経営デザインシートの推進、価値デザイングランプリの開催、グロウ・ウィズ・グーグルの推進、この４本の政策を柱に、全国各地で運動を展開して参りました。企業支援プラットフォームを活用した、補助金・助成金関連相談数は５００件を超え、経営デザインシート、グロウ・ウィズ・グーグルのセミナー総受講者は５０００名以上を数え、価値デザイングランプリへの応募は１００件を上回るなど、価値デザイン委員会の運動が、社会に対して一定程度のインパクトと成果は残せたものと自負しております。北海道内のみならず、多くの仲間とともに海を越え、貴重な経験ができたことに心より感謝を申し上げるとともに、このような機会を与えていただいた曙理事長、千歳青年会議所メンバーの皆様にも心より感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　地区大会運営委員会

委員長　生杉　隆礼

今年度、北海道地区協議会へ初出向させていただき、地区大会運営委員会委員長として「第６９回北海道地区大会旭川大会」の企画・運営に携わらせていただきました。全道ＬＯＭの負託と信頼を得た北海道地区協議会の運動の集大成である北海道地区大会。世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症が拡大する中、他団体のように地区大会を中止にすることは簡単だったかもしれません。しかし、幾度とない変更を余儀なくされる中、今できる最大限の手法を模索し、開催の希望を最後まで捨てずに旭川青年会議所メンバーと走り続けたからこそ、新たな形に挑戦することができました。大会テーマに掲げた「咲誇る未来へ」は満開にはならなかったかもしれませんが、誰も耕したことがない不毛の大地に確実に種は蒔いたと自負しています。６８年間その時々の社会情勢に向き合い運動を展開し地域のため、北海道のために寄与してきた地区大会は尊いものです。今回の出向で多くの学びと多くの感動そして多くの絆をいただきました。この貴重な経験を第７０回北海道地区大会千歳大会につなげてまいります。最後に山本エリア長、玉田室長をはじめとする地区運メンバー。新谷理事長、平間実行委員長をはじめとする旭川青年会議所メンバー。出向の機会を頂いた曙理事長をはじめとする千歳青年会議所メンバー。全ての人に心から感謝を申し上げ出向者報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　総務広報委員会

副委員長　佐藤　　剛

本年、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会の総務広報委員会副委員長として出向の機会をいただきました。諸会議の設営を担う委員会でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく開催方法を変えた一年でございました。集合での開催からＺｏｏｍを利用したＷＥＢ開催へと移行する中でも、採決方法等試行錯誤を繰り返し、運営の精度を高めていきました。その後、会場とＷＥＢの両方を利用したハイブリッド会議へと移行する際も様々な課題を解決しながらの運営となりました。開催手法を変えることにより、距離や時間といった煩わしさが解消される一方で、集まることでしか得られない部分が鮮明になる機会でもあったと感じております。また、広報についても担当する委員会でありましたが、緊急事態宣言の発令など全道の会員会議所が運動を制限せざるを得ない状況が続き、発信数も比例して落ち込む一年ではありました。しかし、このような時だからこそという強い気持ちで各地域の為に運動を展開する各地会員会議所の情熱を肌で感じることができたと実感しております。ハイブリッド会議をはじめ、本年の出向で得た知識や想いを、ＬＯＭに合った形を考え還元できるよう取り組んでまいります。最後となりますが、出向の機会を提供いただいた千歳青年会議所のメンバーの皆さま、一年間共に助け合い共に学んだ総務広報委員会の皆さまに御礼を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所
２０２０年度　社会グループ価値デザイン委員会

小幹事　富樫　昭大

今年度は、ＪＣＩ日本の価値デザイン委員会小幹事として出向させていただきました。昨年に続き２度目の本会出向は一つ担いをいただき、小幹事として小委員会の情報共有と意識共有をさせていただきました。コロナ禍ということもあり対面で会う機会が極端に少ない点は非常に残念でしたが、当委員会が扱う経営デザインシートは、自社の経営課題の分析から価値を見出し、未来をしっかりと想像する大切さを学べるとともに、それらを拡散させるというミッションにおいては、自分だけでなく多くのメンバーに価値あるモノを提供できたと思います。最後に、多くの学びの機会と支援してくれたすべての方々に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所
２０２０年度　社会グループ価値デザイン委員会

小幹事　増子　洋行

今回で本会への出向は４回目となり、初の第２小委員会の幹事を仰せつかることになりました。日本青年会議所の組織改革において、青年会議所活動とそこに参画するメンバーのビジネスとの関わりが前面に押し出されるようになりました。 我々のミッションは事業や社業の目的や経営方針を体系化整理し在りたい姿がどうあるべきか具現化するするツール「経営デザインシート」の普及活動でした。残念ながら、コロナ禍での活動となり当初予定していた事業やセミナーが中止となりましたが、インターネットを活用したオンラインセミナーの配信等を行い先進的な事例を全国へ発信することができました。最後に、コロナ禍においてニューノーマルといったものが取り沙汰され､新しい生活様式や価値観に移行しつつあります｡今回の出向で得た機会を糧に、この千歳という地域においても、新しい価値観やビジネスモデルを発信できればと思っております。一緒に出向して頂いた、瀧副委員長と同じく幹事を拝命した富樫君に感謝いたします。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　地区大会運営委員会

幹事　土門　哲也

地区大会運営委員会の幹事として旭川大会の構築に携わってまいりました。主催実行委員会等の諸会議に参加する中で、全道のＪＡＹＣＥＥが抱く地区大会への熱い思いに触れ、沢山の学びを得ました。幹事として委員会への機会の提供という面では課題が残りましたが、丁寧な情報発信に努め、旭川で行った大会式典の配信会場へは多くのメンバーに集まっていただくことが出来ました。ＷＥＢ配信となった卒業式並びに活動総括においては、卒業生への感謝と一年間の運動の集大成を今できる最善の形で発信し、咲誇る未来を示すためにスタッフの一人として尽力しました。出向の機会を与えていただいたＬＯＭの皆さまに感謝を申し上げ報告とさせて頂きます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　総務広報委員会

幹事　村井　英俊

今年度は総務広報委員会に幹事として出向させていただきました。総務広報委員会では諸会議の設営、上程される議案のチェック及び議事録作成を主として行ってまいりました。ＬＯＭを優先させるため地区出向は考えておらず決断したのは４月とかなり遅い時期であり、幹事としての役割を果たせなかった部分も多々あったと感じていますが、新たな気づきや出会いにより出向したことで多くの学びと仲間を得られました。ＪＣのスケールメリットの一端に触れることができ、この経験をメンバーに伝えることで一人でも多くのメンバーに出向して気づきを得ていただきたいと思います。結びに、出向の機会を提供いただいた千歳青年会議所のメンバーの皆さまに御礼を申し上げ出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　道央エリア運営会議

議員　太田　憲之

現役最終年度となる本年は道央エリア運営会議に出向させていただきました。運動としては各地青年会議所の人材を育成するアカデミー研修塾の開催・運営と各地青年会議所メンバーの絆を深めるための交流事業、そしてエリア大会の開催等の担いがありました。ウインターコンファレンスは盛会に開催され、幸先の良い滑り出しだったのですが、その後は新型コロナウイルスの影響もあり、当初計画していた内容からの変更を迫られました。その結果ＷＥＢ形式やハイブリット形式での研修塾の開催や、懇親会の代わりに地域を巻き込んだテイクアウト事業と連動させる等試行と挑戦を繰り返した一年となりました。この文字数では語りつくせぬ程の多くの学びとご縁をいただきました事に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　道央エリア運営会議

議員　中田　　愛

本年度、北海道地区協議会道央エリア運営会議として出向させていただきました。前回、エリアに出向させていただいた時とはメンバー、また、環境も大幅に変わり、戸惑う事が多かった年だと思います。本年度コロナという世界的なウイルス、感染症に脅かされ、自分が目指していた活動は半分も出来なかったと思います。しかし、コロナという病気に負けて逃げていたかもしれません。上を目指す仲間を見て、更に学び、この思いを仲間、そしてこれから入会してくるメンバーに伝えていきたいと思います。そんな思いを伝えて頂いたメンバー、エリアの皆様には多大な感謝の気持ちを伝えつつ出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　地区大会運営委員会

委員　安部　優雅

本年は、生杉委員長のもと、地区大会運営委員会へ出向させて頂きました。千歳開催が決まっていることから、地区大会開催の勉強がしたいと思いました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、ＪＣの活動全てに影響が出ることになり、旭川大会も二転三転しながら、ＷＥＢ開催という初めての試みに挑戦することとなりました。現地で全道からのＪＣメンバーが集まることはできなかったことは残念でしたが、新しい形の地区大会の運営を経験することができました。ＩＣＴ等を活用することは、ＪＣの運動を進めるにおいても、必要になっていくと感じます。この経験を来年の千歳で開催される地区大会にもしっかりと生かしていきたいと思います。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　地区大会運営委員会

委員　高橋　卓也

本年度、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会地区大会運営委員会に委員として出向させてもらいました。私は初めての出向でしたが地区大会運営委員として各会議に開催地またＷＥＢでの参加をさせてもらい、改めて青年会議所の規律性を得ることができました。また地区大会という大きな事業を成し遂げるために生杉委員長そして主管の旭川青年会議所が一丸となって成功させたいと思う気持ちを肌で感じさせてもらうことができました。私は、委員会活動には中々参加することができなくご迷惑をおかけしましたが、無事一年間を終えることができました。出向の機会をくださいました皆様に感謝を申し上げ出向報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　地区大会運営委員会

委員　山川　　力

本年度出向にあたり、第一に感じたことは、新鮮さでした。慣れ親しんだＬＯＭメンバーではなく全道各地から参加しているメンバーとの出会い、その新鮮なメンバーで事業を構築していく上で進め方や、連携の取り方など、志を同じく持つ仲間との意識の統一等様々な経験をさせていただきました。事業やプロジェクトを進めていくにつれ、ＬＯＭでは経験できない大きなプロジェクトに参加している一員としての自覚がわき、ＬＯＭだけで活動していた自分よりも違った自分になれたと思います。自らの事でいっぱいだった自分が、他人や他の物事に対しても考え、思いやりをもって接するようになり、「自分ちょっと変わったかも」と思える様にもなりました。今回の出向で人と出会い、同じ目標に向かって進んでいったことは本当に貴重な経験であり、自分の中での財産となりました。この経験で自分が更にいい方に変われるように努力し、前進していこうと思っております。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　総務広報委員会

委員　伊藤　香織

私は今年、北海道地区協議会総務広報委員会に出向させて頂き、アカデミー以外の出向は初めての経験で、何をする委員会なのかもわからず出向していました。しかし、今年度の出向を通して総務広報委員会とは何をする委員会なのかをしりました。会議の設営では、参加者がやりやすい環境を整える事。そして、会議の前には全議案のチェックをする事です。出向するにあたって会議や委員会に積極的に参加し、多くの事を学ぶつもりでしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、あまり参加できなかった事に申し訳ない気持ちです。出向とは、様々な方と出会い、情報を交換できる素晴らしい環境です。出向させていただき、ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　総務広報委員会　委員
２０２０年度　道央エリアアカデミー塾　塾生

堀見　憲裕

公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会２０２０年度アカデミー研修塾では、全道の研修生との交流を通じて、青年会議所活動の基礎的な事やメリット・デメリットなど多くの事を学び、これからの活動の可能性を広げられる機会を得ることが出来ました。そして、北海道地区協議会総務広報委員会では、北海道地区の会議の運営を行い、その活動を内外問わずに広報活動を通じて発信してきました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、これまでのやり方では会議すら開催できない状況に追い込まれましたが、ＷＥＢ会議や現地とＷＥＢのハイブリッド開催という手法を確立し、有事の際にも青年会議所活動の運営が行えるようにいたしました。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　道央エリアアカデミー塾

塾生　伊藤　一成

本年度、道央エリアアカデミー塾に参加させて頂きました。今年度のアカデミー塾は新型コロナウイルスの影響にて２月の入校式以降なかなか対面での開催が叶いませんでした。それでも、Ｚｏｏｍを活用したＷＥＢ開催であったり、後半には感染対策などを徹底し対面での開催であったり、塾長を始めとするアカデミー塾に係る全ての方々のおかげでたくさんのことを学ぶことができました。私自身、全ての回に参加できませんでしたが、多くの方々と知り合い、学ぶことができました。この経験を今後のＪＣ活動に生かし日々成長して参ります。このような機会を与えていただいた千歳青年会議所のメンバーや北海道地区協議会の皆様に心より感謝申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度　道央エリアアカデミー塾
塾生　大久保　景右

私は千歳青年会議所に２０１９年に入会し今年度アカデミー塾生として出向させていただきました。私自身、青年会議所の正会員として活動した大きなものはこのアカデミーが初めてで緊張したのを覚えています。第１回の開校式のみの参加ではありましたが、すべてが初めての経験で青年会議所の大きさ、理由は違いますがそれぞれで目標をもち集まった方々と交流できたことは私にとって非常に大きな収穫となりました。これまで私が出会いふれてきた世界とは全く異なる世界の方々と会話することで自分の世界が広がり自己成長に繋がったと今確信しています。今後のＪＣ活動、公務に対しこの経験を生かし思いを忘れず精進していこうと思います。

会員褒賞

年間出席率１００％会員褒賞受賞者

曙　　嘉輝

高橋　卓也

吉岡　　毅

佐藤　剛

生杉　隆礼

斉藤　　創

伊藤　一成

坂口　直希

沼田　大喜

中田　　愛

堀見　憲裕

村井　英俊

会員褒賞５年連続受賞者
２０２０年度　まちの魅力発信委員会　委員

坂口　直希

私が千歳青年会議所に入会させていただいたのが２０１６年１月でありますから、今年で５年が経過する事になります。右も左も、それこそ会員褒賞というものの存在すら知らないなかでＪＣ活動がスタートしたわけですが、当時自分に出来る事といったら委員会への参加、議事録作成ぐらい。他に出来る事といえば、例会事業への出席でした。そういった状況は暫く続き、所属した委員会や委員長には随分と迷惑をかけてしまったようにも思います。とはいえ、少しずつ例会や事業の構築に携わっていくと、計画や準備に対する苦労とそこでの学びがあり、参加していただくことへの喜びがありました。今の私はそれを知っていますから、今後も時間が許す限り全力で、例会や事業へ参加してまいります。

特別会員褒賞

最優秀ＪＡＹＣＥＥ賞　ＪＣ活動並びにＬＯＭに顕著な貢献のあった正会員を選出し表彰

受賞者　生杉隆礼君

入会年度　２０１８年

ＭＶＣ賞　年間を通じて次の３点を点数化して最も高得点の会議体・委員会を表彰

・会員拡大人数

・例会出席人数（スプレッドシートで集計）

・会議・委員会開催回数（スプレッドシートで集計）

受賞委員会　ひととまちが輝く未来創造委員会

ベスト例会（事業）賞

最も記憶に残り、一丸となって例会事業を構築した委員会を選出し表彰

受賞委員会　ひととまちが輝く未来創造委員会（２月例会）

受賞会議体　出向者連絡会議（１１月例会）

人財育成大賞　入会歴の浅い会員を対象に、年間を通じ最も飛躍した１名を選出

受賞者　伊藤一成君

入会年度　２０１９年

ベスト「いいね！」賞　特に広報に注力した正会員１名を選出

受賞者　伊藤一成君

入会年度　２０１９年

会員募集中!!

一緒にまちづくり運動しませんか？

新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動制限を余儀なくされている昨今において、まちを活性化させていくために必要とされているのは私たち若い世代の活力であり、それぞれ個人の資質を向上し、企業に還元することでより良い世の中が実現されると私たちは考えております。青年会議所という団体は、時代の流れを受けより地域社会に必要とされる運動を展開しながら、地域社会の発展を真剣に考えている団体なのです。今までも本当に多くのメンバーが在籍し、それぞれが地域社会や国を舞台に今も活躍しております。

入会に際して所属されている企業・経営している企業の形態や規模は入会に際して一切関係はありません。個人経営の方から、一般サラリーマン、ＯＬの方たちから、企業の経営者、役職者まで幅広い多くのメンバーによって構成されております。

この困難とされる時代だからこそ、一緒にまちづくり運動を通じて自己の成長、企業の発展を目指していきませんか？

例会・事業の
オブザーブ大歓迎！
お問合せ下さい。

お問合せお待ちしております。
電話：０９０－９５２６－２７０１【会員拡大推進室室長（村井）】
ＦＡＸ：０５０－３５８８－２４３６
Mail：mail@chitose-jc.com
ホームページ：https://chitose-jc.com/